

科目名				授業の種類	授業担当者	
英会話 (英語コミュニケーション)				演習	高橋 渉	
学科	学年	単位	時間数	授業回数	履修時期	必修・選択
保育科	1	2	60	30	通年	必修
[授業の目的・ねらい]						
英語の4技能(聞く・話す・読む・書く)をバランス良く習得することを目指す授業である。日本語が使えない状況で、現在世界の共通語となっている英語をコミュニケーションの手段として最大限に利用するための練習の場である。						
[授業全体の内容と概要]						
各ユニット内に、リスニング・リーディングの練習がバランス良く配分されている。それぞれを練習しながら、かんたんなスピーキング・ライティングの練習も実施する。						
[受講上の注意事項]						
授業はみんなが理解できるようにゆっくり進めるので、各自必ず予習をしておくこと。また授業中に英和・和英辞典を使用するので(電子辞書も可)、毎回持参すること。						
[使用テキスト]				[評価基準]		
総合英語のターゲット演習(初級):金星堂 同 上 (準中級):金星堂				各期末試験 70%, 授業時の活動状況 30%		
[授業の日程と各回のテーマ・授業内容]						
回	項 目		授 業 内 容			
1	イントロダクション UNIT 1: 日常生活		授業の進め方の説明 数字の聞き取り・be動詞と一般動詞			
2	UNIT 2: 人間関係・コミュニケーション		時間・日付・年号の聞き取り 代名詞			
3	UNIT 3: 言語・文化		聞き分けにくい音の聞き取り 否定文			
4	UNIT 4: 健康・医療		カタカナ語とのギャップ 疑問文の基本			
5	UNIT 5: 職業・キャリア		短縮形の聞き取り 過去形の基本			
6	UNIT 6: ファッション		つながる音 進行形の基本			
7	UNIT 7: 観光・旅行		消える音 未来を表す表現			
8	UNIT 8: スポーツ		イントネーション 現在完了			
9	UNIT 9: レジャー・エンタメ		写真や絵を見ながらの聞き取り 助動詞の基本			
10	UNIT 10: アート		挨拶文の聞き取り 動名詞の基本			
11	UNIT 11: 食		誘うときの表現 不定詞(名詞的用法)			
12	UNIT 12: ビジネス		依頼するときの表現 不定詞(形容詞・副詞的用法)			
13	UNIT 13: サイエンス		Yes/No疑問文 受動態の基本			
14	UNIT14-15: 産業テクノロジー環境		Wh疑問文と付加疑問文 前置詞と接続詞			

15	前期期末試験	
16	ここから準中級のテキスト内容です UNIT 1: 日常生活	いろいろな数値1 基本5文型
17	UNIT 2: 人間関係・コミュニケーション	いろいろな数値2 文の種類
18	UNIT 3: 言語・文化	発音しづらい語句 基本時制
19	UNIT4: 健康・医療	固有名詞(人名・地名) 進行形
20	UNIT 5: 職業・キャリア	簡単な挨拶文 完了形
21	UNIT 6: ファッション	提案文・勧誘文 助動詞1
22	UNIT 7: 旅行・観光	依頼文 助動詞2
23	UNIT 8: スポーツ	Yes/No疑問文 受動態
24	UNIT 9: レジャー・エンタメ	Wh疑問文 不定詞
25	UNIT 10: アート	否定・付加疑問文 動名詞
26	UNIT 11: 食	カジュアルな表現 分詞
27	UNIT 12: ビジネス	フォーマルな表現 比較
28	UNIT 13: サイエンス	意味のかたまり 関係代名詞
29	UNIT 14-15: 産業テクノロジー環境	主張や理由を聞くキーワード 話法・特別な構文
30	後期期末試験	